第1章

準備

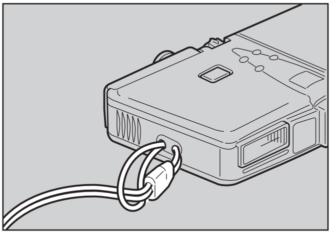
お使いになる前に

お使いになる前に、ハンドストラップ／レンズキャップの準備をしてください。

ハンド ストラップを取り付ける

1

ハンドストラップの先端をカメラのストラップ取り付け部に通す



重要

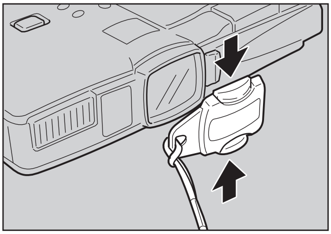
・カメラ本体を振り回すような持ち方はしないでください。

レンズキャップを取り付ける

1

レンズキャップを矢印の方向に押しながら取り付ける

取り外すときは、レンズキャップをつまむように押して取り外します。



補足

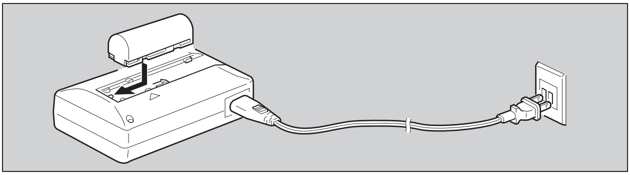
・レンズキャップの紛失防止のため、ストラップのひもにつなげてください。

電源について

ここでは、バッテリーのセットや充電方法、家庭用コンセントを使用して電源をとる方法について説明しています。

バッテリーを充電する

初めてお使いになるとき、または電池マーク（▭）が点灯したときは、次の方法でバッテリーをフル充電してください。



1 電源コードのコネクタをバッテリーチャージャーに差し込む

2 電源コードの反対側の電源プラグをコンセントに差し込む

3 バッテリーをバッテリーチージャーにセットする

充電が開始され、下表のように充電できます。充電が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

CHARGE（充電）ランプ	内　容
赤色点灯	充電開始
緑色点灯	充電開始後、約 75 分で充電完了（全体の 90%） ＊お急ぎのときは、この時点でご使用になれます。
緑色消灯	緑色点灯から約 35 分でフル充電完了

■使用上のご注意

・当社専用または指定のバッテリー（DB-20L）以外を使用しないでください。

・充電には、当社専用のバッテリーチャージャー（型名：BJ-1）をご使用ください。

・バッテリー（型名：DB-20L）以外のものを、バッテリーチャージャーで充電しないでください。
・充電は、周囲の温度が 10 〜 40 度の範囲で通気性のよい場所で行ってください。
・バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行っても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。
・充電が終わったあとにバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
・充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。

バッテリーをセットする

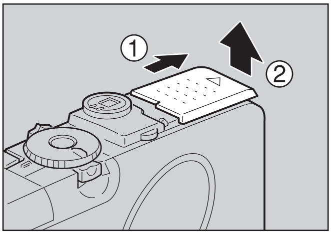
重要

・初めてお使いになるときは、必ず充電してください（出荷時は充電されていません）。▶▶▶P.21「バッテリーを充電する」

バッテリー（充電式リチウムイオン電池）をセットしてカメラを操作します。

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、電池ぶたを押しながらスライドして開く

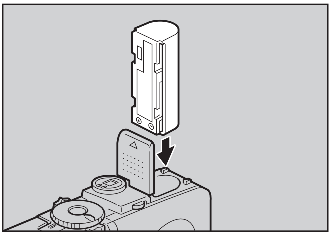
▶▶▶・P.28「電源をオン／オフする」



重要

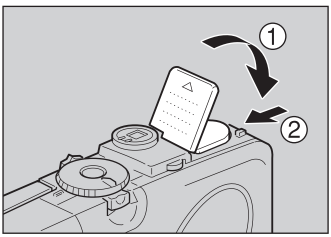
・バッテリーとの接触面や電気的接続片に金属針のようなもので触れないようにしてください。静電気破壊をおこすことがあります。

2 バッテリーをセットする



3 電池ぶたを閉じる

電池ぶたはしっかりと閉じてください。



●撮影・再生の目安

次の測定条件において、撮影時と再生時の使用可能時間の目安は下表のとおりです。

［測定条件］

撮影時：電源 ON 状態で記録モード連続撮影
（途中の電源 OFF なし、30 秒間隔で撮影 / フラッシュ発光 50%、測定温度：20 ℃）

再生時：電源 ON 状態で再生モードにて連続放置、測定温度：20 ℃

電池の種類	撮影時間の目安	再生時間の目安
リチウムイオン電池 DB-20L（フル充電）	約 50 分	約 50 分

コラム

撮影・再生時間をのばすための豆知識

・使用環境温度により数値が減る傾向にあります。低温時は、バッテリーを手で温めるなどしてご使用になると、撮影枚数が多くなることがあります。

・フラッシュ、ズーム操作や液晶モニターを多用するとバッテリーが早く消耗しますので、必要以上の操作はお避けください。

・画像のコピーや消去などの操作を繰り返すと、バッテリーが早く消耗します。

・液晶モニターを閉じてファインダーを使って撮影すると、さらにバッテリーの消耗をおさえることができます。

■使用上のご注意

・操作の前に、バッテリーに付属の使用説明書を必ずお読みください。

・専用のバッテリーをお使いください。▶▶▶P.125「別売り品について」

・ご使用になるバッテリーの端子部分と本体との接触部分を、乾いた布などできれいにふいてご使用ください。

・連続して長時間ご使用になると、バッテリーが熱くなることがあります。しばらくしてから取り出してください。

・バッテリーの充電以外は、バッテリーチャージャーとバッテリーを別々に保管してください。

・バッテリーを保管する場合は、付属のケースを付けてください。

・長時間お使いにならないときは、完全に放電してから取り出し、涼しいところで保管してください。再びお使いになるときは、フル充電してからご使用ください。

補足

・電源がお近くにあり長時間ご利用の場合は、AC アダプター（別売り）をご使用ください。
▶▶▶P.24「AC アダプターを接続する」

・バッテリーだけでご使用になるときは、予備のものを用意してください。

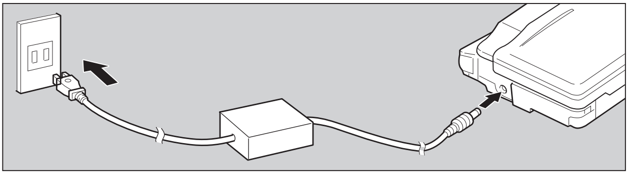
・電池マーク（▭）の点灯は、バッテリーの消耗を表しています。バッテリーを充電してください。
▶▶▶P.21「バッテリーを充電する」

AC アダプターを接続する

撮影・再生で長時間ご使用になるときやパソコンと接続するときは、AC アダプター（別売り）を接続して家庭用コンセントでお使いください。

AC アダプターについて

AC アダプターに付属の取扱説明書、「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。



1 カメラの電源が切れていることを確認してから、AC アダプターの接続ケーブルを、カメラの電源（DC 入力）端子に接続する

・P.28「電源をオン／オフする」

2 コンセントに電源プラグを差し込む

重 要

- 電源プラグおよび接続ケーブルは、しっかり差し込んでください。記録中にプラグやケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- カメラを操作中（記録・再生・消去など）に AC アダプターを接続したり、取り外したりすると、電源の供給先がかわるため一度電源が切れます。
  そのためデータが破壊されることがありますので、カメラの電源を切った状態で AC アダプターを接続または取り外してください。
- カメラを長時間ご使用にならない場合は、AC アダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。

補足

- カメラ本体にバッテリーがセットされている場合、家庭用コンセント（AC アダプター側）からの電源を優先して供給します。長い間お使いになるときは、バッテリーを取り外してください。

スマートメディアについて

スマートメディア（メモリーカード）の種類や使いかたについて説明しています。

スマートメディアについて

ファイルは、スマートメディアにデータとして記録されます。次のものを使用できます。

・容量　　：2MB、4MB、8MB、16MB、32MB、64MB、128MB

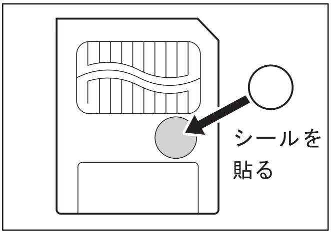
・動作電圧：3.3V

補足

・スマートメディアには様々な種類があります。市販の製品をお使いになるときは、スマートメディアのメーカーに必ずご確認ください。
・スマートメディアは、PC カードアダプター（別売り）やフロッピーディスクアダプター（別売り）を使うと、パソコンの PC カードスロットまたはフロッピーディスクドライブに直接セットできます。

■誤記録防止について

記録したファイルを間違えて消してしまわないよう、スマートメディアにライトプロテクトシールを貼ってください。ライトプロテクトシールを貼ると、記録や消去ができなくなります。



記録や消去を行うときは、ライトプロテクトシールをはがしてご使用ください。

補足

・ライトプロテクトシールが汚れたときは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

■使用上のご注意

●スマートメディアについて

・電源を入れた状態で、スマートメディアを抜き差ししないでください。

・スマートメディアを曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。

・静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管はさけてください。

・高温多湿の場所、ホコリの多い場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管はさけてください。

・スマートメディアの接触面にごみや異物がつかないようにしてください。汚れは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

・スマートメディアのカード挿入口にごみや異物を入れないようにしてください。

・危険なので、スマートメディアを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

・スマートメディアには寿命があります。長期間ご使用になると、新しく記録ができなくなることがあります。

●データについて

・お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったり、スマートメディアが静電気や電気的ノイズの影響を受けたり、故障や修理のときに記録したデータが消滅することがあります。記録したデータの消滅による損害について、当社は一切責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

・スマートメディアへ記録中に電池を取り外したり、電源を切ったり、AC アダプターを接続したりしないでください。スマートメディア内のデータが破壊されることがあります。

・大切なデータは、他のメディア（フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーしておくことをお勧めします。

スマートメディアをセットする

カメラの電源が切れていることを確認してから、スマートメディアをセットします。

重 要

・スマートメディアを抜き差しするときは、必ず電源を切ってください。スマートメディア内のデータが破壊されたり、カメラ本体の誤動作を起こす場合があります。

・新しいスマートメディアや、他の機器（パソコンなど）で使用していたスマートメディアをお使いになるときは、カメラでフォーマット（初期化）してください。▶▶▶ P.104「カード / 内蔵メモリーをフォーマットする」

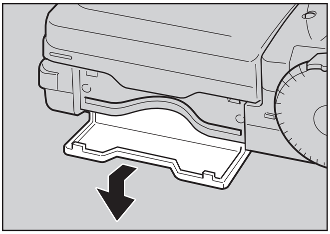
・記録中や消去中にスマートメディアを取り出さないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。

・取り出したスマートメディアは、必ずカードに付属の静電気防止ケースや収納ケースに入れてください。

■セットする

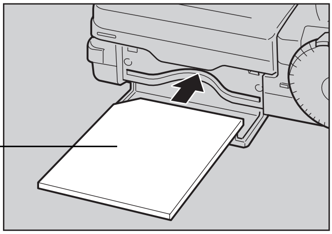
1 カメラの電源が切れていることを確認してから、カードカバーを開く

・P.28「電源をオン／オフする」



2 スマートメディアをカード挿入口にセットし、カードカバーを閉じる

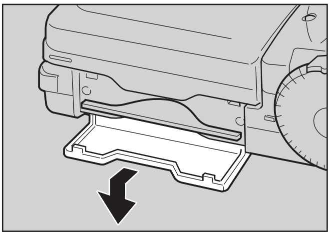
スマートメディアの接触面が下面になるように、しっかり押し込んでください。



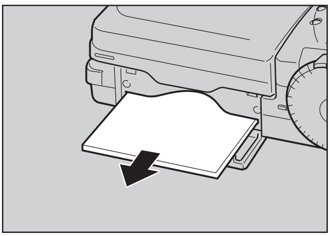
■取り出す

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、カードカバーを開く

・P.28「電源をオン／オフする」



2 スマートメディアをまっすぐ引き出すようにして取り出す



3 カードカバーを閉じる

補足

- スマートメディアをセットするときは向きを間違えないようにしてください。また、スマートメディアは斜めに挿入しないでください。
- カードカバーが開いているときは、電源が入りません。

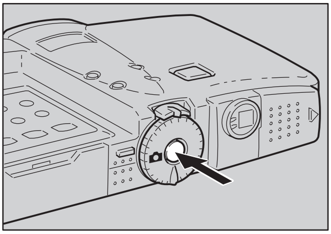
電源をオン／オフする

カメラの電源スイッチを操作して、電源のオン・オフを切り替えます。

1 モードダイヤルの中央にある電源スイッチを押す

電源が入ります。

再度電源スイッチを押すと電源が切れます。



コラム

オートパワーオフについて

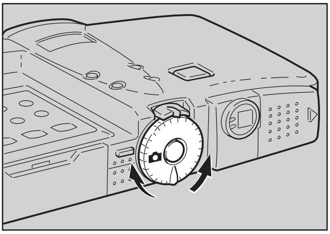
電源がオンのとき、設定された時間カメラの操作（ボタンの操作）をしないと、節電のためオートパワーオフが働き電源が切れます。再びお使いになるときは、電源を再投入してください。なお、AC アダプター使用時はオートパワーオフは機能しません。▶▶▶ P.107「オートパワーオフの設定を変更する」

モードダイヤルの使い方

このカメラには、撮影や再生を行ういくつかのモードがあります。モードダイヤルを使って切り替えます。

モードダイヤル	モード名	内容
📷	静止画モード	一般的な撮影で使用します。
🎙	音声モード	音声を録音するときに使用します。
文字	文字モード	文字を撮影するモードです。階調をなくし、白と黒の 2 値で記録します。
連写	連写モード	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
動画	動画モード	動画を記録するモードです。音声も同時に記録されます。
▶	再生モード	記録したファイルを再生するモードです。
SET	SET モード	カメラの設定を変更したり、確認するモードです。

1 モードダイヤルを回して、使用するモードに切り替える



モードによって、液晶モニターに表示される画面が異なります。操作については、下記の参照先をご覧ください。

- 📷（静止画）→ P.41
- 🎙（音声）→ P.51
- （文字）→ P.50
- （連写）→ P.52
- （動画）→ P.53
- ▶（再生）→ P.83
- SET（SET）→ P.104

情報表示の見かた

液晶モニターや液晶パネルには、電池の状態や記録可能枚数、設定されているモードなど、カメラの状態をマークや数字で表示します。

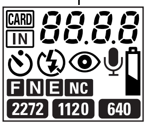
補足

- ここでは、すべての情報を表示しています。実際には、必要な情報だけが表示されます。
- 本機以外のデジタルカメラで撮影されたファイルは、記録先/再生元（CARD/IN）以外は表示されません。
- 表示されるメッセージについては、「エラーメッセージが表示されたとき(P.123)」をご覧ください。

撮影モードのとき

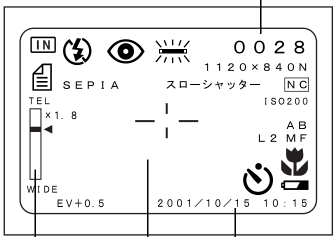
液晶パネル

残り記録枚数／記録時間



液晶モニター

残り記録枚数／残り記録時間



ズームバー　日付・時刻　メッセージ

	液晶パネル	液晶モニター
メディア	CARD　IN	CARD・IN
フラッシュモード	（点滅）	・・（点滅）・A
赤目モード		
文字モードレベル	―	-2・-1・0（表示なし）・+1・+2
ホワイトバランス	―	AUTO（表示なし）・・・・・M
ファイル種類		静止画（表示なし）・・・・
モノトーンモード	―	B&W・SEPIA
シャープネスモード	―	SHARP+1・SHARP-1
ネガモード	―	NEGA
デジタルズーム	―	× 1.4・× 1.8・× 3.6
サイズ / 画素数	2272　1120　640	2272 × 1704・1120 × 840・640 × 480
画質 / 圧縮率	F　N　E　NC	F・N・E・NC
ISO 感度設定	―	AUTO（表示なし）・ISO200・ISO400・ISO800

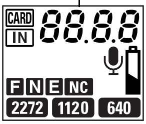
	液晶パネル	液晶モニター
オートブラケット	―	AB
フォーカスモード	―	AF（表示なし）・MF・2.5m・∞
長時間露光	―	L1・L2・L4・L8
マクロ撮影	―	
セルフタイマー撮影		
電池マーク	＊	＊
露出補正値	―	EV-2.0 ～ EV+2.0

＊電池マークは、バッテリー残量が低下したときに表示されます。

再生モードのとき

液晶パネル

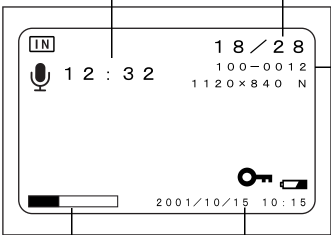
再生ファイル番号／再生時間



液晶モニター

録音時間／録画時間

再生ファイル番号／総ファイル数



ファイル名

インジケーター

日付・時刻

	液晶パネル	液晶モニター
メディア	CARD IN	CARD IN
ファイル種類		静止画（表示なし）
サイズ / 画素数	2272 1120 640	2272 × 1704・1120 × 840・640 × 480
画質 / 圧縮率	F N E NC	F・N・E・NC
電池マーク	＊	＊
プロテクトマーク	―	
アフレコ		

＊電池マークは、バッテリー残量が低下したときに表示されます。

メニュー画面の使い方

補足

・各メニューで設定できる内容については、「機能別索引(P.136)」をご覧ください。

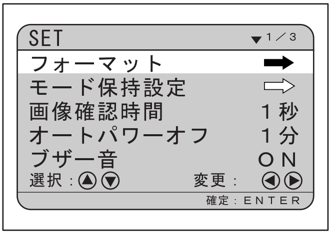
このカメラでは、各種の設定や変更をメニュー画面で行います。次のように操作パネルのボタンを使って、項目を選択したり、確定することができます。

■メニュー画面を表示する

●設定メニュー

モードダイヤルをSETモード（SET）に合わせます。

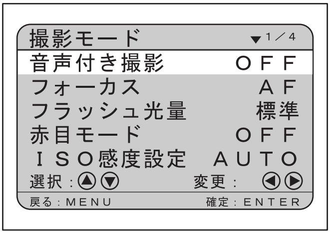
他のモードに切り替えると、メニューの表示を取り消します。



●撮影メニュー

撮影モード（・・・・）のとき、MENUボタンを押します。

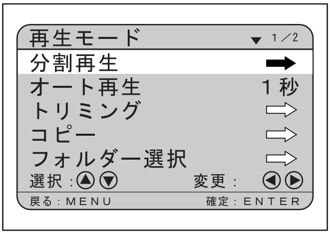
再度 MENU ボタンを押すと、メニューの表示を取り消します。



●再生メニュー

再生モード（）のとき、MENU ボタンを押します。

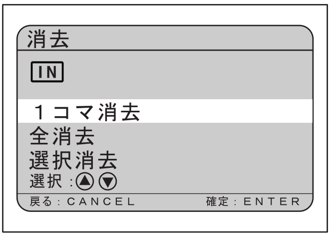
再度 MENU ボタンを押すと、メニューの表示を取り消します。



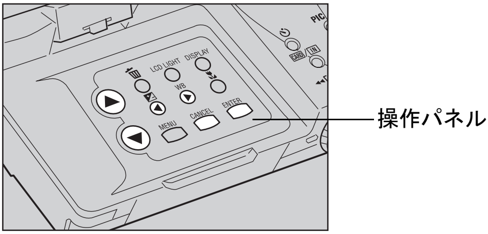
●消去メニュー

再生モード（）のとき、ボタンを押します。

再度ボタンか CANCEL ボタンを押すと、メニューの表示を取り消して再生モードに戻ります。



■項目の選択と取り消し

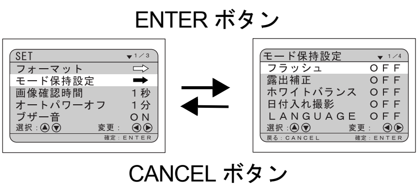


●項目の選択

▲ボタン・▼ボタンを押して設定したい項目を選びます。複数の画面があるときは、▲ボタンで前の画面、▼ボタンで次の画面を表示できます。

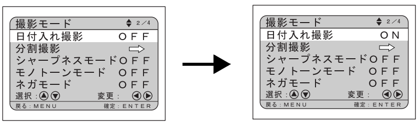


➡のある項目では、ENTERボタンを押して次の画面を表示します。



●設定内容の選択

◀ボタン・▶ボタンを押して設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。



●取り消し

CANCELボタンを押します。設定した内容を取り消して、１つ前の画面に戻ります。

補足

・半輝度の項目は設定できません。

日付・時刻を設定する

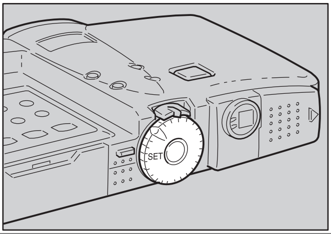
補足

- 年は西暦で入力します。
- 時刻は 24 時間表示です。00:00 は真夜中を、12:00 は正午を表します。

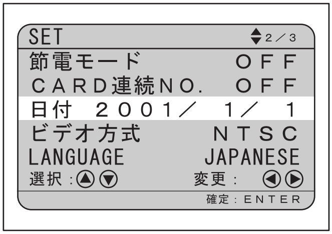
カメラの日付や時刻を設定します。最初にお使いになるときや、設定してある日付や時刻を変更するときにお使いください。

1 電源を入れ、モードダイヤルを［SET］に合わせる

・P.28「電源をオン／オフする」



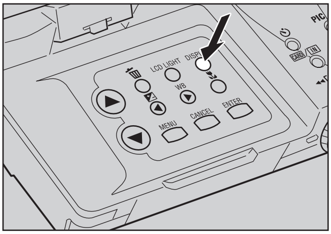
2 ▲ボタンや▼ボタンを押して［日付］を選ぶ



3 DISPLAY ボタンを押して、日付の表示方法を選ぶ

日付の表示方法は、次の 3 種類です。

2001/10/15 → Oct 15 2001 → 15 Oct 2001



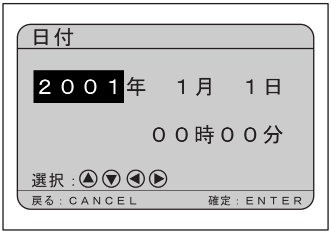
DISPLAY ボタンを押すごとに、順に表示が切り替わります。表示方法を選択してください。

4 ENTER ボタンを押す

日付メニューが表示されます。

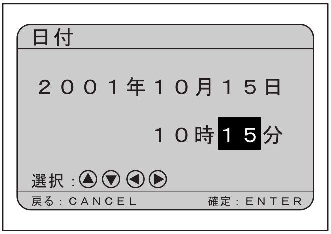
5 ▲ボタンや▼ボタンを押して、反転している数字を変更する

▲ボタンを押すと数字が進み、▼ボタンを押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると早く動きます。



6 ◀ボタンや▶ボタンを押して、修正したい部分を反転させる

手順 ***5***、***6*** の操作を繰り返して、必要な部分を修正します。



補足

・▶ボタンを押すごとに、年から月→日→時→分の順番で反転します。

7 分を合わせたあと、ENTER ボタンを押す

時計が動きはじめ、SET メニューに戻ります。

補足

・バッテリーの交換などでバッテリーを取り出してから約20日経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

コラム

日付・時刻を確認するには

セットした日付や時刻は、DISPLAY ボタンを押すと液晶モニターに表示されます。▶▶ P.42、P.86「画面表示について」

カメラの構えかた

重 要

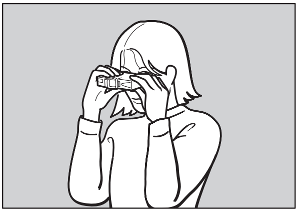
・シャッターボタンから指を離しておいて、撮影のときに一気にシャッターボタンを押し込むとカメラブレの原因になります。
・カメラのブザー音が鳴るまでは、カメラを動かさないでください。

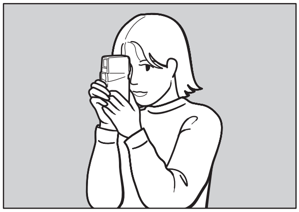
撮影のときにカメラが動いてしまうことを「カメラブレ」といいます。カメラブレの映像は、画像全体がブレてしまいシャープに写ったところがありません。カメラが動かないように正しく構えてください。特に望遠時には、カメラブレにご注意ください。

1 カメラを両手でしっかり持ち、ひじは軽く体につける

●ファインダーをのぞいて撮影する

カメラを軽く顔に押しつけるように固定し、撮影したいものにカメラを向けてファインダーをのぞきます。

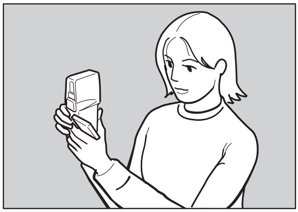




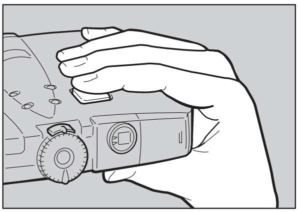
●液晶モニターを見ながら撮影する

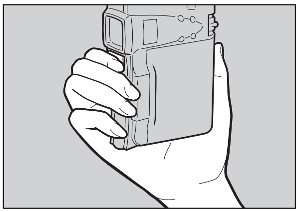
カメラを両手でしっかり持ち、撮影したいものにカメラを向けて液晶モニターを見ます。





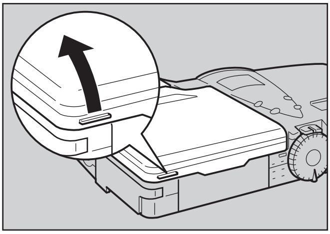
2 シャッターボタンに指の腹が軽く触れるようにする



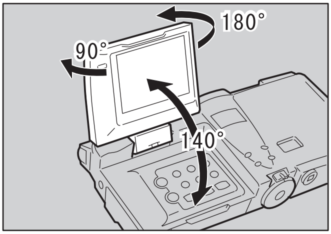


■液晶モニターについて

液晶モニターを開くときは、図のようにつまみを押しながら開けてください。



液晶モニターは、図のように回転できます。自由なアングルで撮影してください。

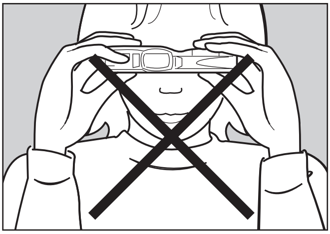


重要

・水平方向へは、液晶モニターを90度に開いてから回転させてください。

■使用上のご注意

カメラのレンズやフラッシュ発光部などに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。



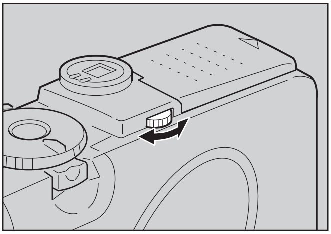
カメラの調整のしかた

視度や液晶モニターの明るさを調整してお使いください。

視度を調整する

ファインダーから被写体がはっきり見えるように、視度を調整してお使いください。

1 視度調整つまみを左右に動かして、被写体がはっきり見えるよう調整する



液晶モニターの明るさを調整する

液晶モニターが見えにくいときは、液晶モニターの明るさを調整します。

1 操作パネルのLCD LIGHTボタンを押す

ボタンを押すごとに、5段階で明るさを変更できます。

